



# 山口伊太郎遺作展 源氏物語 錦織絵巻

相国寺 承天閣美術館

平成20年  
4月27日(日)~7月6日(日)  
午前10時から午後5時  
入館料 1,000円



山口伊太郎遺作展実行委員会

- 平成5 「源氏物語錦織絵巻」展開催  
(セイコきもの文化財団)
- 平成7 仏ギメ国立東洋美術館に「源氏物語錦織絵巻」第一、二巻を寄贈
- 平成13 「源氏物語錦織絵巻」第三巻完成  
仏ギメ国立東洋美術館に「源氏物語錦織絵巻」第三巻寄贈
- 平成14 「山口伊太郎安次郎二百歳記念」展  
(平安神宮(会館))
- 平成15 「山口伊太郎安次郎二百歳記念」展  
(東京・大倉集古館)
- 平成16 「百二歳、山口伊太郎翁の見果てぬ夢」(祥伝社)  
NHK「二〇〇歳ではたりまへん」出演 (ハイビジョンスペシャル)
- 平成17 「山口伊太郎・山口安次郎の世界」展  
(静岡・佐野美術館)
- 平成19 6月27日、永眠



### 推薦のことは

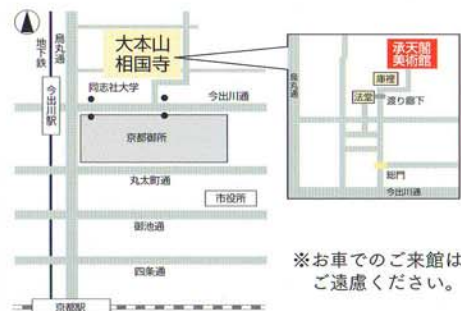
不思議な導きで、山口伊太郎翁の源氏物語錦織絵巻(全四巻)の完成を記念した遺作展の開催を承天閣美術館でお引き受けする運びとなった。

まず、遺作展開催の縁に感謝したい。そして、その完成が、源氏物語千年紀の祝賀の年と見事に重った神妙に、今更に感動を深くしている。

伊太郎翁は、「誰もやらなかったことを、織物組織の醍醐味を……」と、西陣の千年の歴史が貯えた織技に、最前の秘技を加え、独自の美意識を貫き、絵画をも凌ぐ美しい錦の完成をめざした。七十歳での発起から三十七年をかけて、最終巻である第四巻の段取りを見届け、百五歳を一期に穏やかに彼岸へと旅立たれた。

偉業と呼ぶほかない錦織の源氏物語絵巻を皆様とともに鑑賞し、翁の追福菩提を念じた。

有馬頼底



※お車でのご来館はご遠慮ください。

- 《交通のご案内》
- JR京都駅より、京都市営地下鉄今出川駅下車徒歩8分
  - 阪急電車烏丸線より、京都市営地下鉄今出川駅下車徒歩8分
  - 京阪電車出町柳駅より、市バス20・20系統同志社前下車
  - 印市バス停

相国寺 承天閣美術館

〒602-0898 京都市上京区今出川通烏丸東入

●お問い合わせ 山口伊太郎遺作展実行委員会 電話075-491-2595  
http://www.itaro-genji.com E-mail: isakuten@itaro-genji.com

ごあんない

平成二十年三月三日、織物による源氏物語、「源氏物語錦織絵巻」全四巻は完成いたしました。

作者故山口伊太郎は後世に自身の到達した事績を残すべく昭和四十五年、七十歳の折に制作を開始しました。爾来、三十七年の歳月をその完成に費やした事になります。昼も夜も、寢床でも、食事中でも寸暇を惜しんでの間もなく日常のすべてを織物の制作に捧げて参りました。

前例の無い斬新な手法をもって次々と新しい織技を創造し、織物の表現の領域を拡げ、絵画のそれを凌駕せんとの奮闘の連続でありました。

平成十九年六月二十七日、あらゆる準備の作業も終え、いよいよ「源氏物語錦織絵巻」の最終巻の製織が始まり、残すは完成待つのみという時を過ぎつつ、本人は静かにこの世を去りました。ときに山口伊太郎、齢百五歳。

弟であり、やはり織物一筋に今年百四歳を迎える山口安次郎の、「お別れは源氏が完成してから、それまで皆で静かに待って、それからお別れしよう」ということは従い、残された親族、社員一同は、一心に「源氏物語錦織絵巻」の完成を期し精進して参りました。そして、ここに臨済宗相国寺管長有馬頼底様下のお導きにて山内、承天閣美術館にて「山口伊太郎遺作展」を開催させていただく運びとなりました。

奇しくも平成二十年の京都は源氏物語一千年紀の祭典の年、偶然とはいえ深いご縁を思わないではいられません。

皆様のご高覧を切にお願い致す次第でございます。



経歴 「源氏物語錦織絵巻」の活動を中心に

明治24 京都西陣にて出生

大正9 山口織物所開業

昭和45 「源氏物語錦織絵巻」製作に着手

昭和61 「源氏物語錦織絵巻」第一巻完成

平成2 「源氏物語錦織絵巻」第二巻完成

平成4 「源氏物語錦織絵巻」展開催

(京都市立文化博物館)



山口伊太郎遺作展

源氏物語錦織絵巻

とき 平成二十年

四月二十七日—七月六日

ところ 承天閣美術館

